

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男) 1 回戦

試合日: 2014/08/02
開始時刻: 12:30~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Dコート
試合順: 第3試合(男) 1 回戦

Team A		Team B
福岡第一	64 $\left[\begin{array}{ccc} 16 & - & 15 \\ 14 & - & 14 \\ 11 & - & 18 \\ 23 & - & 20 \end{array} \right] 67$	桜 丘
(福岡県)		(愛知県)

TeamA(福岡第一)

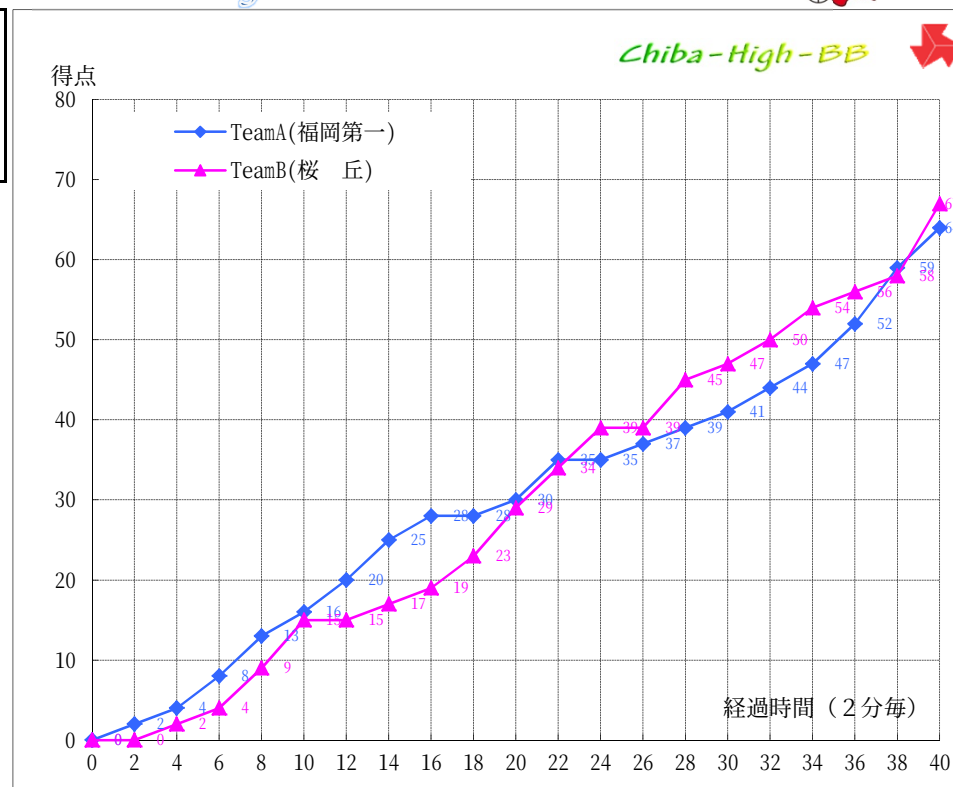
No	PT	選 手 名	得点	3 rd イント 成	2 nd イント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	濱田 健太	7	1	1	2	1	1	0	1	2	1	2
5	◎	井手 優希	11	0	3	5	4	1	3	4	8	1	2
6	◎	秋山 皓太	11	3	1	0	5	0	1	1	1	0	2
7	-	日野 大嵩	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	小池 悠太	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	清野 凌	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
10	○	張 効広	3	0	1	1	2	1	1	2	0	0	0
11	○	武藤 海斗	5	1	1	0	2	1	1	2	1	0	0
12	◎	蔡 錦鈺	18	0	8	2	2	4	4	8	0	1	3
13	-	重富 友希	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	重富 周希	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
15	◎	河野 佑太	9	0	4	1	3	0	3	3	1	2	2
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	5	5	10			1
合 計			64	5	19	11	19	13	18	31	13	5	11

TeamB(桜 丘)

No	PT	選 手 名	得点	3 rd イント 成	2 nd イント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	-	井上 一輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	佐藤 光貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	◎	鈴木 空	16	0	8	0	1	1	0	1	1	0	2
7	-	鈴木 靖哉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	◎	桑 辰弥	11	1	4	0	1	1	3	4	1	1	3
9	◎	高橋 理輝	11	1	4	0	5	0	2	2	5	2	4
10	◎	MBODJ LAMINE	18	0	6	6	3	9	16	25	0	6	6
11	◎	中尾 良平	7	0	3	1	4	3	5	8	2	0	8
12	○	井上 涼	4	0	2	0	2	1	1	2	0	0	1
13	○	横山 遼太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	-	内田 匠海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	高木 稜梧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	9	11			0
合 計			67	2	27	7	16	17	36	53	9	9	25

T0/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部 所属高校バスケットボール部

InterHighSchool 2014 in Chiba 02D3



	前半(1・2 nd ハーフ)	後半(3・4 th ハーフ)	延 1	延 2	延 3	延 4
TeamA	18:43	-	28:03	32:36	38:13	
TeamB	11:39	16:21	31:25	36:00	39:38	

【戦評】

第1 P、お互いハーフコートマンツーマンでゲーム開始。ゴール下で福岡第一#12と桜丘#10の激しいリバウンド争いが繰り広げられる中、互いにアウトサイドの選手が速攻や1対1で点数を取り合う展開となった。第2 P、福岡第一のゾーンディフェンスを桜丘が攻めあぐね、28-19と福岡第一がリードする。福岡第一がマンツーマンに戻すと桜丘がオフェンスのリズムを取り戻し、#8、#6、#10と連続得点し29-30の1点差まで追い上げる。第3 Pはお互いに点の取り合いから始まる。福岡第一は1-3-1や1-2-2など多彩なディフェンスを見せるが、チームファウルがかさみ4分でチームファウル5となると、桜丘は#10が確実にフリーフローを決め少しずつリードを広げ、50-41とする。第4 P、福岡第一は2-2-1や1-2-1-1オールコートゾーンプレスで相手のミスを誘い56-58とすると、#4の3 Pで59-58と逆転に成功。互いに一歩も譲らない点の取り合いとなるが、最後は福岡第一の激しいディフェンスに対しパスでチャンスを作った桜丘が67-64で競り勝った。

審判	久保 知仁 / 桃川 悠一 /	戦評	中田 都
----	-----------------	----	------

千葉県高体連バスケットボール専門部